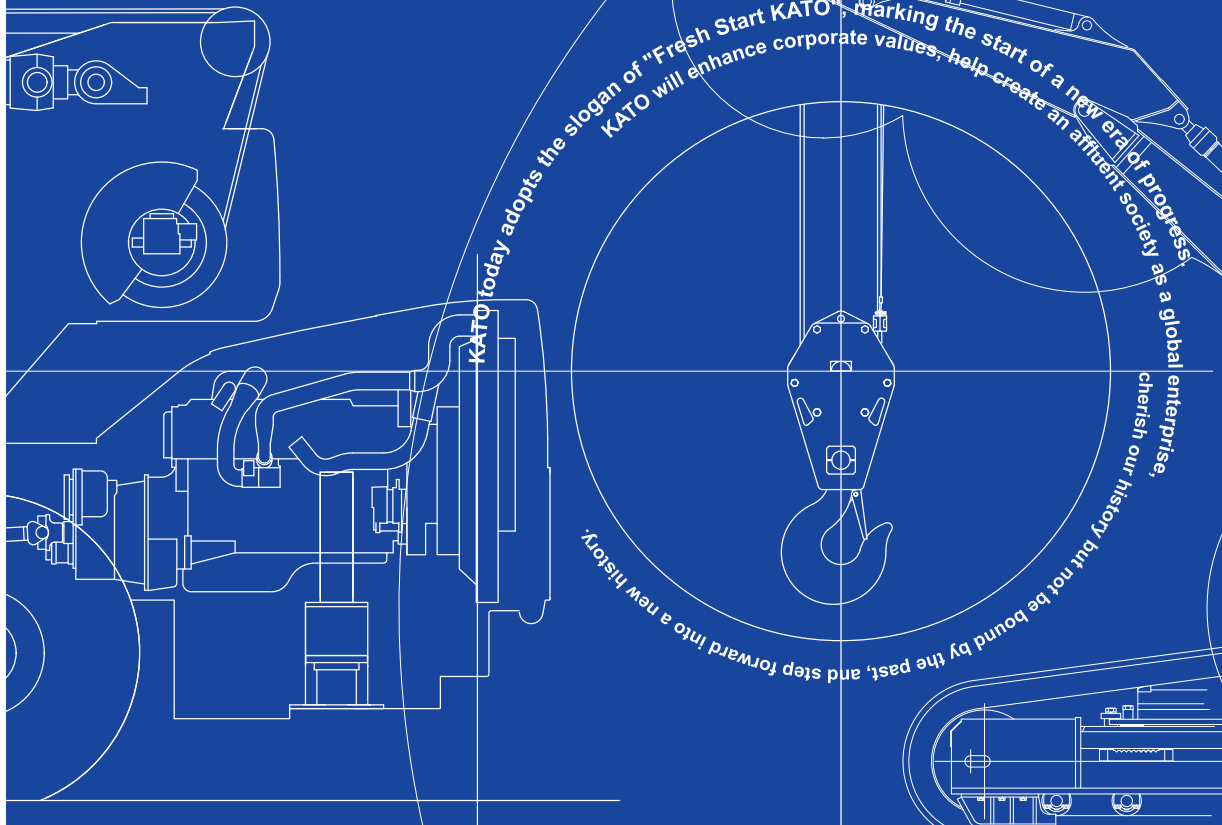


# KATO

"Today's dialogue leads to tomorrow's technology"



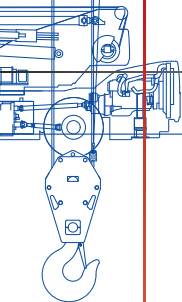
## KATO Report

第113期中間報告書

2011/4/1~2011/9/30

株式会社 加藤製作所

証券コード 6390



# Innovations For The Future

未来に向けたあらゆる革新的な取り組み  
企業価値の向上を目指し  
世界的企業として豊かな社会作りに貢献します

## Contents

株主の皆様へ……………	2
連結決算の概要……………	3
トピックス……………	5
会社概要……………	6



平成23年12月

代表取締役社長 加藤 公康

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、当社第113期第2四半期の決算を行いましたので、その概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災で寸断されたサプライチェーンも回復し、生産面での不安要素はなくなってまいりましたが、米国景気の先行き不安や、欧州経済に対する不信感などから、引き続き円高・株安の状態が続くなど、総じて厳しい状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、中国政府の金融引き締め政策等により、中国の油圧ショベルの需要に前年ほどの勢いがなくなりましたものの、国内の建設用クレーン需要は、リーマン・ショック後の極端な買い控え状態から抜け出し、ようやく回復の兆しがみえてきました。

このような状況下、当社グループは、建設用クレーンを中心に、さらなる需要の拡大を目指し、積極的な営業活動を推進するとともに、適正価格の維持と、コストの低減に注力いたしました。

主要品目別の業績を見ますと、建設用クレーンにつきましては、東日本大震災による部品不足の状態もなくなり、需要動向も落ち着きを取り戻してまいりましたものの、国内・海外ともに未だ力強さに欠ける状況が続いております。売上高は125億6千8百万円（前年同期比134.1%）となりました。

油圧ショベル等につきましては、中国では前年ほどの勢いはみられず、足踏み状態で推移いたしました。その他の海外地域および国内においては、落ち着きを取り戻してまいりました。売上高は123億5千6百万円（前年同期比97.5%）となりました。

路面清掃車等につきましては、売上高は2億8千万円（前年同期比115.6%）となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は252億5百万円（前年同期比113.1%）、営業利益は前年同期の2千9百万円から大きく増加し、12億4千2百万円、経常利益は12億8百万円（前年同期は1億5百万円の損失）、四半期純利益は8億5千4百万円（前年同期比365.5%）となりました。

当社グループは、今後もコストダウン施策をさらに追求し、競争力を高め、収益向上に全力を注いでまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 連結決算の概要

## 連結貸借対照表

[単位:百万円]

科 目	2010年度 (前 期 末) 2011年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2011年9月30日現在	科 目	2010年度 (前 期 末) 2011年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 2011年9月30日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>63,369</b>	<b>69,782</b>	<b>流動負債</b>	<b>32,055</b>	<b>36,206</b>
現金及び預金	12,860	14,783	支払手形及び買掛金	17,480	20,077
受取手形及び売掛金	29,236	30,312	短期借入金	8,390	9,550
たな卸資産	19,381	22,604	1年内返済予定の長期借入金	3,771	4,109
繰延税金資産	903	1,041	未払法人税等	126	73
その他	1,112	1,177	割賦販売前受利息	1,242	1,320
貸倒引当金	△124	△137	賞与引当金	305	332
<b>固定資産</b>	<b>11,862</b>	<b>11,443</b>	製品保証引当金	195	266
<b>有形固定資産</b>	<b>7,878</b>	<b>7,927</b>	その他	544	477
建物及び構築物	3,788	3,641	<b>固定負債</b>	<b>12,717</b>	<b>14,137</b>
機械装置及び運搬具	1,067	1,056	長期借入金	11,388	12,812
土地	2,744	2,744	退職給付引当金	730	729
建設仮勘定	106	332	役員退職慰労引当金	587	587
その他	171	153	その他	11	9
<b>無形固定資産</b>	<b>138</b>	<b>120</b>	<b>負債合計</b>	<b>44,773</b>	<b>50,344</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>3,845</b>	<b>3,395</b>	<b>純資産の部</b>		
投資有価証券	1,413	1,408	<b>株主資本</b>	<b>30,548</b>	<b>31,255</b>
破産更生債権等	2,597	2,528	資本金	2,935	2,935
繰延税金資産	1,138	762	資本剰余金	7,109	7,109
その他	1,269	1,225	利益剰余金	20,527	21,235
貸倒引当金	△2,574	△2,529	自己株式	△25	△25
<b>資産合計</b>	<b>75,231</b>	<b>81,225</b>	その他の包括利益累計額	△90	△374
			その他有価証券評価差額金	29	22
			為替換算調整勘定	△119	△396
			<b>純資産合計</b>	<b>30,458</b>	<b>30,881</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>75,231</b>	<b>81,225</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

[単位:百万円]

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2010年4月1日～ 2010年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2011年4月1日～ 2011年9月30日
売 上 高	22,282	25,205
売 上 原 価	19,808	21,500
売 上 総 利 益	2,474	3,704
販売費及び一般管理費	2,444	2,462
営 業 利 益	29	1,242
営業外収益	390	335
営業外費用	525	369
経常利益又は経常損失(△)	△105	1,208
特 別 利 益	116	—
特 別 損 失	0	25
税金等調整前四半期純利益	10	1,182
法人税、住民税及び事業税	94	87
法 人 税 等 調 整 額	△317	240
少数株主損益調整前四半期純利益	233	854
四 半 期 純 利 益	233	854

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

[単位:百万円]

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2010年4月1日～ 2010年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2011年4月1日～ 2011年9月30日
営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	2,212	△267
投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△342	△545
財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	△2,395	2,774
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△210	△38
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△736	1,923
現金及び現金同等物の 期 首 残 高	11,075	12,860
現金及び現金同等物の 四 半 期 末 残 高	10,338	14,783

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 《400トン吊りオールテレーンクレーンKA-4000R新発売》

2011年2月に全国発売を開始しました。

当社の400トン吊りオールテレーンクレーンは、ブームに強さがあり、建設現場はもちろんのこと、湾岸、高速道路や鉄道の橋梁といった幅広い現場で好評をいただいております。

新システム採用のジブにより、さらなる高揚程とふところの深い作業範囲を実現しました。

また、後方格納・横振り出し式キャビンを採用し、輸送時の利便性と作業時視界がアップしたことにより、オペレータの負担を軽減しています。

KATOのクレーン車は、おかげさまで国内トップシェアとなりました。これからも安全・環境にも配慮したクレーン車トップメーカーとして絶え間ない進化を続けてまいります。



## 《震災復興現場で活躍するKATOの油圧ショベル》

これから本格化する東日本大震災の被災地での復興事業で、取り分け急がれるのが膨大な量の瓦礫の処理です。

皆様も新聞、テレビ等でご覧のようにその中心的役割を担うのが油圧ショベルです。

これから先、現地からの需要は急速に増加するものと思われます。

長い歴史を誇る当社のHDシリーズ製品は、耐久性、経済性に優れ、しかも使いやすい建機として、被災地現場からも高い評価をいただいております。KATOは、その信頼に応えられるよう工夫、努力を重ね、環境にも配慮したより良き建機を提供してまいります。



## ■ 会社の概要 (2011年9月30日現在)

創 業	明治28年
会 社 設 立	昭和10年 1月
株 式	発行可能株式総数 234,000,000株 発行済株式総数 58,717,936株
資 本 金	2,935,896,800円
従 業 員 数	614名 (連結780名)
主 要 製 品	●荷役機械

ラフテレーンクレーン (ラフター®)  
 オールテレーンクレーン (オルター®)  
 〈全油圧式〉トラッククレーン  
 積載型クレーン (キャブバック®)  
 〈全油圧式〉クローラクレーン

## ●建設機械

〈全油圧式〉ショベル  
 アースドリル (シティドリル®)  
 全回転式ボーリングマシン

## ●路面清掃車等

〈真空吸込式〉高速路面清掃車  
 〈超真空式〉万能吸引車 (マルチバック®)  
 空港用除雪車 (スノースーパー)

## ■ 役員 (2011年9月30日現在)

代 表 取 締 役 会 長	加 藤 正 雄
代 表 取 締 役 社 長	加 藤 公 康
取 締 役 常 務 執 行 役 員	加 藤 籠 二
取 締 役 執 行 役 員	田 邊 隆 之
取 締 役 執 行 役 員	渡 工 藤 和 博
取 締 役 執 行 役 員	米 村 史 博
執 行 役 員	高 橋 啓 二
執 行 役 員	北 川 一 秋
執 行 役 員	石 丸 靖
執 行 役 員	多 々 良 道 雄
執 行 役 員	柳 義 孝
執 行 役 員	尾 城 正 博
執 行 役 員	岡 田 美 津 男
執 行 役 員	村 上 正 樹
常 勤 監 査 役	向 井 賢 一
常 勤 監 査 役	赤 神 茂
監 査 役	林 功
監 査 役	室 中 道 雄

(注) 監査役林 功および監査役室中 道雄の両氏は、社外監査役であります。

## ■ 主要工場



茨城工場 (茨城県猿島郡五霞町)



群馬工場 (群馬県太田市)



加藤(中国)工程机械有限公司(中国江蘇省昆山市)

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告（ <a href="http://www.kato-works.co.jp/">http://www.kato-works.co.jp/</a> ） ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行 証券代行部 0120-288-324（フリーダイヤル）
お取扱店		みずほ信託銀行 全国本支店 みずほインベスターズ証券 全国本支店
未払配当金のみ、みずほ銀行 全国本支店でもお取扱いいたします。		
ご注意	支払明細発行は特別口座の場合の「お問い合わせ先」までご連絡ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、最新の企業活動をお知らせするニュースリリースなど、様々な情報発信を行っております。

<http://www.kato-works.co.jp/>



**KATO** 株式会社 加藤製作所

本社 〒140-0011 東京都品川区東大井1丁目9番37号 ☎03-3458-1111

